

月例山行報告

実施日：2018年3月11日（日）

場所：四寸道より関八州見晴台（奥武蔵）

天候：曇りのち晴れ

参加者（敬称略）：三浦(SL)、伊藤、岩井、鈴木(勝)、上島、望月、市川、池田、金子、生田目、高橋、奥村(L)

行程：越生駅集合、9:25 発黒山行きバスに乗車、石戸橋バス停にて下車。石戸橋バス停 9:55 - 10:13 横吹峠 10:20 - 12:46 関八州見晴台 13:20 - 13:43 高山不動尊 13:56 - 15:06 西吾野駅

感想

関八州見晴台は展望抜群の気分の良い山です。当日は朝方は曇りでも天気は回復するという予報で、山頂に着く頃にはそこそこの見晴らしが得られるかな…？と期待しながらのスタートでした。

越生駅発のバスは満員。途中の梅林や日帰り温泉（？）である程度は下車していましたが、結構の数のハイカーが終点の黒山まで乗車したようです。黒山からも関八州見晴台や顔振峠へ行くことが出来ますが、私たちは途中で降りて古道の四寸道を辿ります。入口の横吹峠まで集落の中を登り、峠からは杉の植林の中をゆるゆると高度を上げていきます。二度目の林道を横切ったところで尾根道を選択しました。最後に少し岩が出てくるはずですが、ネットの情報では大した事は無さそうでした。実際の岩場では岩井さんのサポートにまわりましたが、先行する前の方がやたらと騒々しい。ただ、「進めない！」という声は聞こえてこなかったのが、事実上問題はなかったのでしょうか。欲を言えば、もう一人慣れた人が前を歩いてくれれば良かったかなと思います。岩場よりも山頂直前の急坂が足元も滑って難儀でした。山頂に着いても天候は回復しておらず、せっかくの大展望が得られなかったのは残念でした。久しぶりに両神山を拝みたかったです。高山不動からの下山も面白くない植林の中で、自然と足が早まってしまいます。下りはペースが少し早かったかもしれません。

今回のルートは登り・下りが殆ど植林中で楽しみが少なく展望もあまり得られませんでした。黒山三滝の方から登って休暇村奥武蔵の方に下りれば、滝の周りではそこそこの山野草も見られるでしょうし、最後にお風呂 & 吾野駅への無料送迎バス付きというプランも組めるでしょう。秋深まる頃がベストかもしれません。

今回も事故無く終了、お疲れ様でした。

山行リーダー 奥村

